



～ 新理事長あいさつ ～

転換期に巡り合わせて

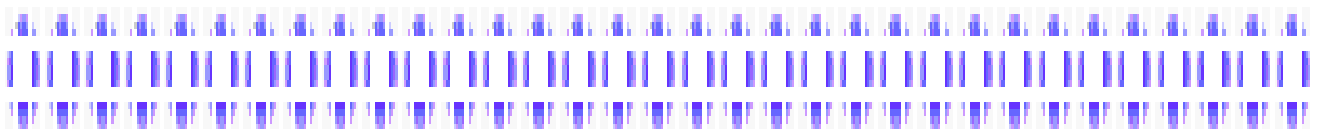
ふくしま NPO ネットワークセンター 理事長 星野 珉二

3. 11の大震災時はちょうど仙台にいました。交通はすべて遮断され、2日間避難所生活を余儀なくされました。退職を前に、第二の人生にあれこれ思いを巡らせている最中の出来事でした。御隠居さんよろしく、人生を楽しもうかと考えておりましたが、この震災から現役時代よりも忙しい日々が始まってしまいました。NPOに関わってきた人間が、この機にしっかり活動しなかったら、今まで何のためにやってきたのか、後あとまで禍根を残すに違いないと、覚悟してギアをチェンジしました。

巡り合わせについても不思議なものを感じます。私が生まれたのは1945年の12月、まさに終戦の直後で、天と地がひっくりかえるような価値観の大転換期のさ中でありました。今回もまた、第二の人生の誕生期において、ある意味で価値観の大転換期に巡り合わせたこととなります。

また、阪神淡路大震災との関係でも気になります。多くのボランティアが駆け付け、復興支援に圧倒的な力を発揮し、それが今日私たちの存在の拠り所となるNPO法の成立に結びついていきました。東日本大震災に対するNPOの取組みにおいて、私たちが後世に何を残すことができるのか、そしてどれだけの知恵を伝えていけるのか、やや覚束ないところが無きにしもあらずです。

理事長としてやるだけやってみようと思います。皆さまのご協力をお願いいたします。



2011年度通常総会と記念シンポジウムが開催されました

ふくしま NPO ネットワークセンター常務理事 牧田実

さる7月16日、福島市市民活動サポートセンターにて、私どもふくしまNPOネットワークセンターの第12回となる通常総会と記念シンポジウムが開催されました。

総会では、ご参会のみなさんの協力のもと、滞りなく審議を進めることができました。役員選任では、元常務理事でもある齋藤健さんの退任と深田俊雄さんの就任、理事互選による星野珙二理事長、佐藤和子副理事長、齋藤美佐・牧田実常務理事という（少しだけ）新しくなった体制についてご承認いただきました。（返り咲きではありますが）新理事長以下、理事一同、当センターの発展に微力を尽くす所存ですので、ご協力のほど、よろしく願い申し上げます。

さて、総会に引き続き、「中間支援NPOの復興支援の取り組み状況と課題——中間総括として」をテーマとする記念シンポジウムを開催しました。宮

城県から特定非営利活動法人せんだいみやぎNPOセンターの紅^{べにむら}邑晶子代表理事、岩手県から特定非営利活動法人風・波デザインの丸山佑介代表運営委員をパネリストとしてお招きし、当センターの星野新理事長を加え、東日本大震災のおもな被災地である東北三県における中間支援組織の活動状況と課題についてパネル・ディスカッションを行いました。紙幅の関係で詳しく紹介することができないのが残念ですが、独自のネットワークづくり、行政との協働、情報の集約と一元化、ニーズとシーズのマッチング、運営資金の調達など、多くの共通する課題を抱えながらも、いずれの点においても彼我の力量の差を感じさせられたことを、当日の進行役としては正直に告白しておきたいと思います。また、これを機会に三県の連携を深め、全国に被災地からの情報発信の機能を強化していきたいものだと思います。



ふくふくプロジェクト情報センター本格活動開始

～冬に着るものがないの巻～

事務局長 早川哲郎

今日（8月11日）、矢野目、笹谷の仮設住宅を訪ねました。井戸端会議のおばあちゃん達に出会ってしばし立ち話。津波で家ごと流されて「冬に着るものがない」と猛暑のなか心配していました。震災から5か月経っても避難者の方々の苦難は続いているのだと改めて知った次第。

ふくふくプロジェクト情報センターの事務局長でありながら、ろくに仕事もせずに3か月経過。今月から本格活動に入って「これから何をすれば」と思った矢先。まだまだ支援は必要だし、復興もこれから。やることいっぱいと思いは先走るものの、本音を言えば支援活動の支援とはなんぞや。手探りの活動がしばらく続きそうです。

支援活動団体からは「とにかく情報を」との要望。その終端の受益者は被災者（私たちがそうですが）でなければなりません。前線で支援活動する団体や個人の後方支援をイメージしているものの、現場を知らずに役は果たせず、直接の支援に追われれば本来の役にあらず。その辺の頃合を計りながら「当事者性」を忘れずにいかなければと考えています。

福島市民もまた原子力災害の被災者です。福島市の復興への道筋は未知数であり多難であると思っています。その途上でNPOがどのような役割を果たしていけるのか、誰もがはじめての取り組みであり、そこにやり甲斐もあります。世界が注目する福島これから。みんなが主役の復興でありますように。



～☆～ 星野先生の退職を祝う会 ～☆～

理事 作田謙太郎

星野珙二先生の退職を祝う会が、7月16日（土）、午後5時30分より福島ビューホテルにて58名が参加し、盛大に開催されました。

本年3月に福島大学を退職され、4月に開催を予定していましたが、震災の影響により、時期を延期しての開催となりました。

初めに発起人代表の佐藤和子 NPO ネットワークセンター副理事長より挨拶があり、引き続き、今野順夫福島大学前学長よりご祝辞を頂戴致しました。祝宴では、星野先生のご友人の大森

真様の音楽グループのジャズ演奏や、親しい皆様方からのテーブルスピーチがあり、先生のお人柄を表すような和やかな会となりました。

また当日は、NPO ネットワークセンターの総会があり、本年度より星野先生が理事長に就任され、祝う会においても、今後の先生のご活躍を期待される声が多く聞かれました。退職されてもお忙しい日々が続きます。末文になりますが、ご参加賜りました皆様方にあらためて感謝申し上げます。

ボランティアをコーディネートすること 第4回のつばアカデミー（NPO研究会）

常務理事 牧田実

東日本大震災の爪痕はまだ大きく、とくに津波の被害を受けた地域では、重機での大規模な作業とは別に、個人レベルでの瓦礫の撤去やヘドロの始末、家財道具の運びだしなどに、多くのボランティアを必要としています。けれども、のちに「ボランティア元年」と呼ばれるようになった1985年の阪神・淡路大震災と比べても、その被災地がけたはずれに広いにもかかわらず、というか広すぎるがゆえに、現地入りするボランティアの数はかなり下回る状態で推移しています。その一因に現地の受け入れ態勢が十分に整わないという事情もあるようです。

そこで、第4回のつばアカデミー（第61回NPO研究会）は、桜の聖母短期大学准教授にしてボランティアセンター長でもある池田洋子氏を講師にお招きし、「ボランティアのコーディネート」をテーマとするお話をいただきました（2011年6月20日、福島市市民活動サポ

ートセンター）。池田氏は、高等教育におけるボランティアの有用性を社会状況と勤務校の実態に即して明らかにしたうえで、ボランティアをコーディネートすることの意義と役割、その評価について具体的に論じてくださいました。

フロアとのやりとりでは、今回の震災をふまえた国際比較の視点、阪神との違い、大都市との違いなどの一般的な論点に加え、ボランティアやNPOがいまいかに行動すべきなのかというきわめて切実で実践的な問いをめぐる議論が活発に展開されました。

◇◇新理事一覧表◇◇

理 事 長	：	星 野 珙 二	(福島大学特任教授)
副 理 事 長	：	佐 藤 和 子	(まちの和研究所代表)
常 務 理 事	：	齋 藤 美 佐	(ふくしま情報ステーション所長)
常 務 理 事	：	牧 田 実	(福島大学人間発達文化学類教授)
理 事	：	遠 藤 ヒロ子	(県議会図書室)
理 事	：	北 村 寧	(放送大学福島学習センター)
理 事	：	小 林 廣 充	(大日本コクサルタント株式会社勤務)
理 事	：	清 水 修 二	(福島大学理事・副学長)
理 事	：	作 田 謙太郎	(株式会社電工社代表取締役)
理 事	：	林 克 重	(タカラ印刷株式会社代表取締役)
理 事	：	深 田 俊 雄	(有限会社バーグ・プラン研究室)

「東北労働金庫主催パートナーシップについて」

NPOパートナーシップふくしま説明会&意見交換会

日 時	平成 23 年 8 月 29 日 (月) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分
会 場	福島市市民活動サポートセンター 会議室 福島市大町 チェンバおおまち 3F 526-4533)
出 席 者	NPOパートナーシップ協力NPO (県内 8 団体) 主催：東北労働金庫福島県本部、 NPO 法人ふくしま NPO ネットワークセンター
内 容	①NPOパートナーシップ 2011 の説明 ②ボランティア希望者の受け入れについて ③各団体活動紹介&その他情報 ④意見交換



◇◇事務局より◇◇

6月から、角田佐知子さんの後任で、働かせていただくことになりました。麻生柚実子と申します。NPOについては、勉強中でまだまだわからないことばかりですが、皆さまとのご縁を大切に、早く仕事な慣れて頑張っていきたいと思っておりますので、宜しくお願いいたします。

発行：ふくしまNPOネットワークセンター

〒960-8034 福島市置賜町 1-29 佐平ビル 8 階

TEL 024(528)1211 FAX 024(528)1218

E-mail center@f-npo.jp

URL <http://www.f-npo.jp/>